

12月12日に横浜市はインフルエンザ流行注意報を発令しました！ 施設への持ち込み防止策と感染拡大防止策を強化しましょう！

- ◇ 市内では学級閉鎖が急増し、保育所での集団発生等が相次いで報告されています。
- ◇ 入院が必要となる重症事例も増えています。
- ◇ 予防接種を受けていても発症を完全に防ぐことはできないため、予防策を徹底しましょう。
- ◇ 発症者を早期に把握する仕組みをつくり、周囲に広げない対策を行いましょ。

1 持ち込み防止対策の強化

(1) 職員の健康管理の徹底（集団発生の多くは職員等による持ち込みが発端）

- ◆ 出勤前の検温の徹底（発熱者は勤務させずに受診させる。）
- ◆ 発熱などの体調不良時は出勤前に必ず管理者へ報告するよう指導
- ◆ 無症状の職員も含めて全員のマスクの着用を徹底
- ◆ 1ケア1手洗い・手指消毒、使い捨て手袋の使用の徹底



(2) 面会に関する注意事項

- ◆ マスクの着用、手洗い及びアルコールによる手指消毒の積極的勧奨
- ◆ 地域の流行状況に応じた面会制限の実施

2 発症者の早期把握及び感染拡大防止

(1) 入所者や通所者等の健康管理の徹底

- ◆ 検温回数を増やすことを検討（発熱者の早期把握）
- ◆ 入所者の手洗い、咳が出るときのマスク着用の徹底
- ◆ 発熱等の有症状者は、早めに個室隔離等の感染拡大防止策を実施
- ◆ 発熱者はインフルエンザを疑い早めに受診させる。



(2) 集団発生の早期把握と迅速な対応

- ◆ 患者発生に備え、施設内での有症状者の情報共有及び報告手順、緊急時連絡体制を確認
- ◆ インフルエンザ陽性者が発生した段階で、入所者等及び職員に対し、添付文書に基づき適正な日数の抗インフルエンザ薬の予防投与を検討
- ◆ 患者が複数名発生した場合には、直ちに個室等への隔離、面会禁止、新規受入中止、イベントの中止、スタッフ及び入所者の動線固定（他のユニット、フロアへの原則移動禁止）

3 流行情報の確認（今後の流行警報発令にご注意ください。）

横浜市衛生研究所では、原則毎週木曜日に「横浜市インフルエンザ流行情報」を発出します。区ごとの発生状況を公表していますので対策にお役立てください。

- ◆ 横浜市衛生研究所HP（市内の最新の感染症発生状況）

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/eiken/idsc.html>

